

19.10.23 Fujikawa meeting

LOCK LOSS REPORT

LOCK LOSSの原因調査

1

今回の方法

IO部分のロックロスがあった複数の時間を対象にした

制御OKのときとロックロスのときで
信号やセンサの値に違いがあるか

OKとロックロスで違いが見られたら
制御が外れた原因??

対象の時刻

ロックロスの時刻

・・・8, 9月の00:00 ~ 08:00
の時間で全816個

制御OKの時刻

・・・8, 9月の00:00 ~ 08:00
の時間でランダムに60個

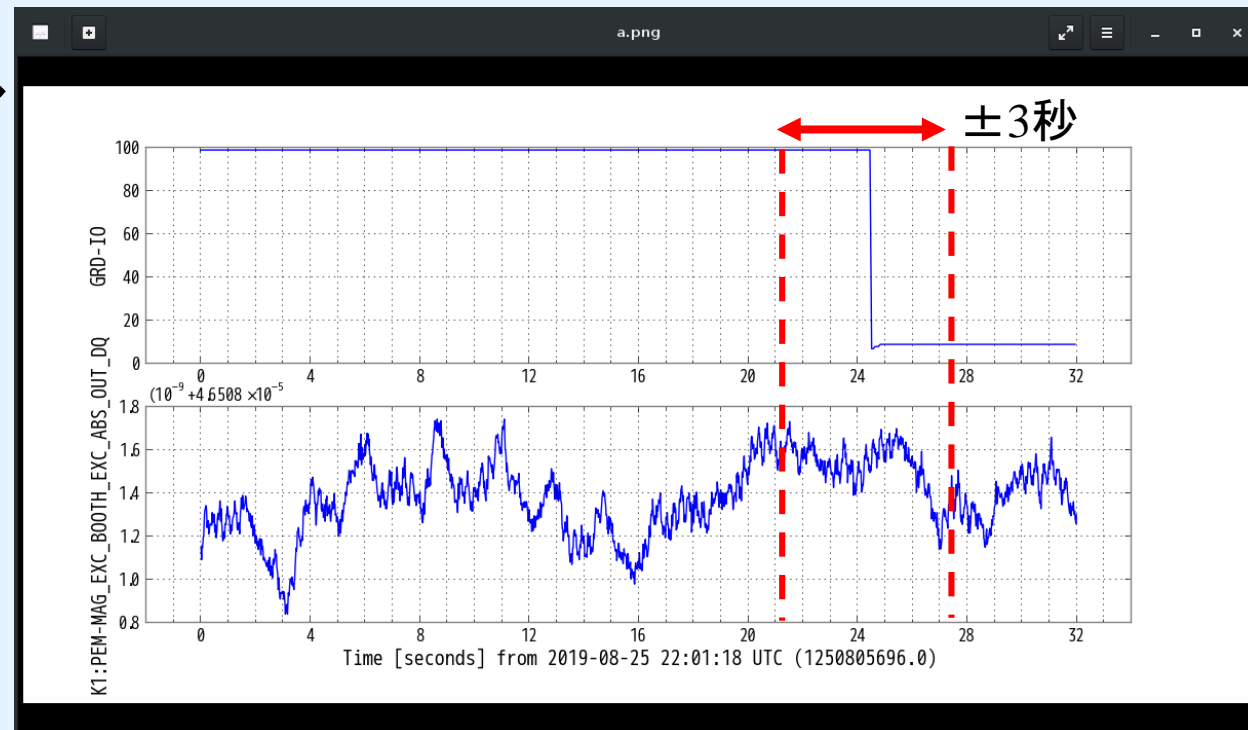
研究方法

制御OKの時刻における、
センサなどの波形(32秒間)の最大値を計算

ロックロスの時刻の前後3秒における、
センサなどの波形の最大値を計算



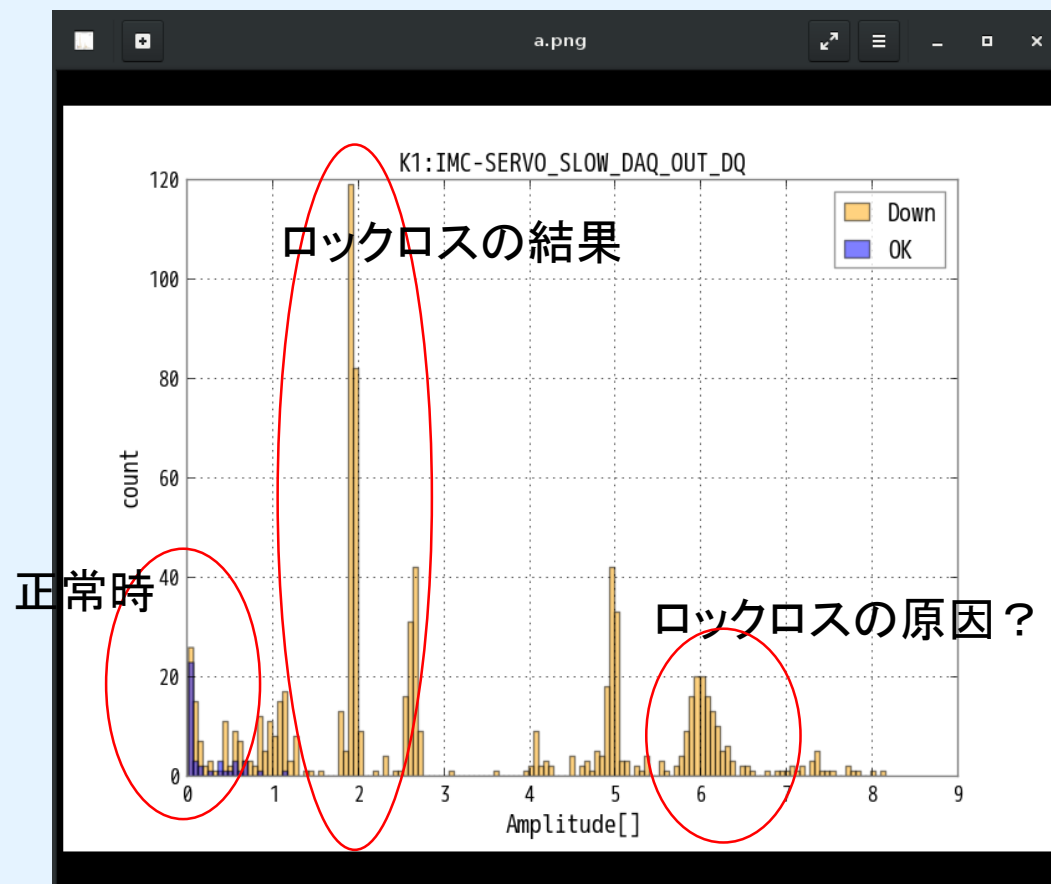
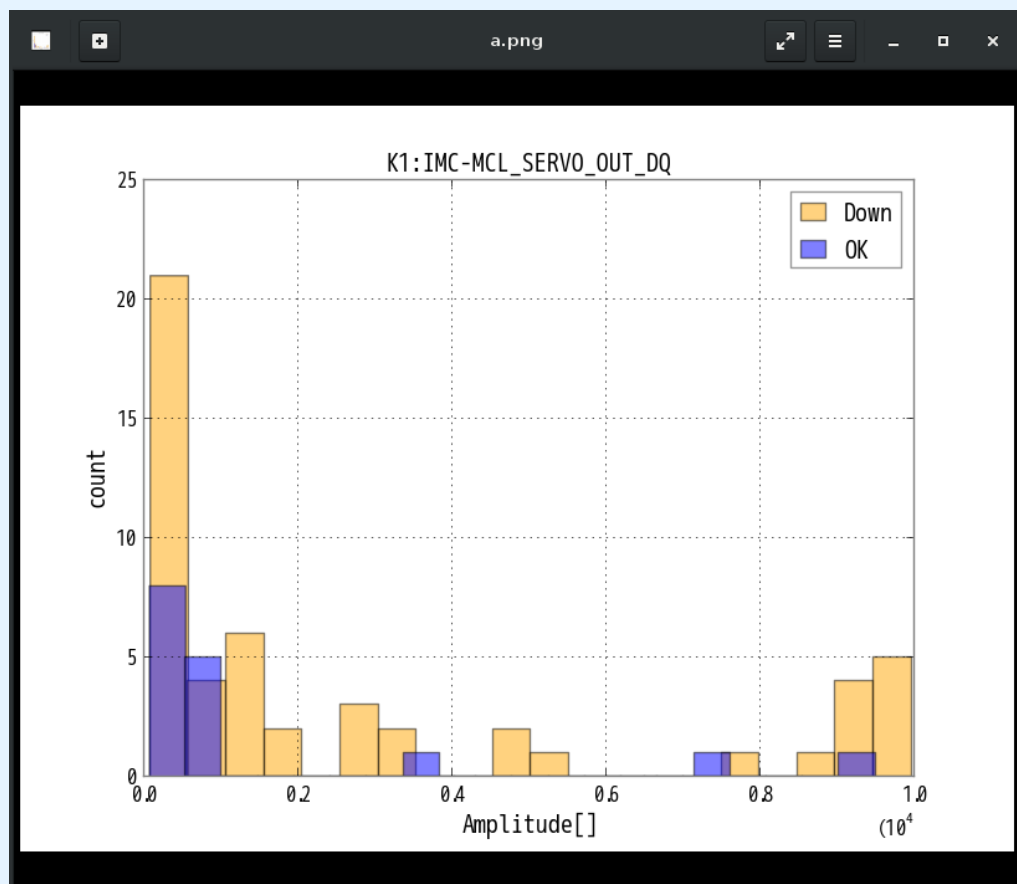
それぞれの最大値を
ヒストグラムで表示



研究結果（重要チャンネル）

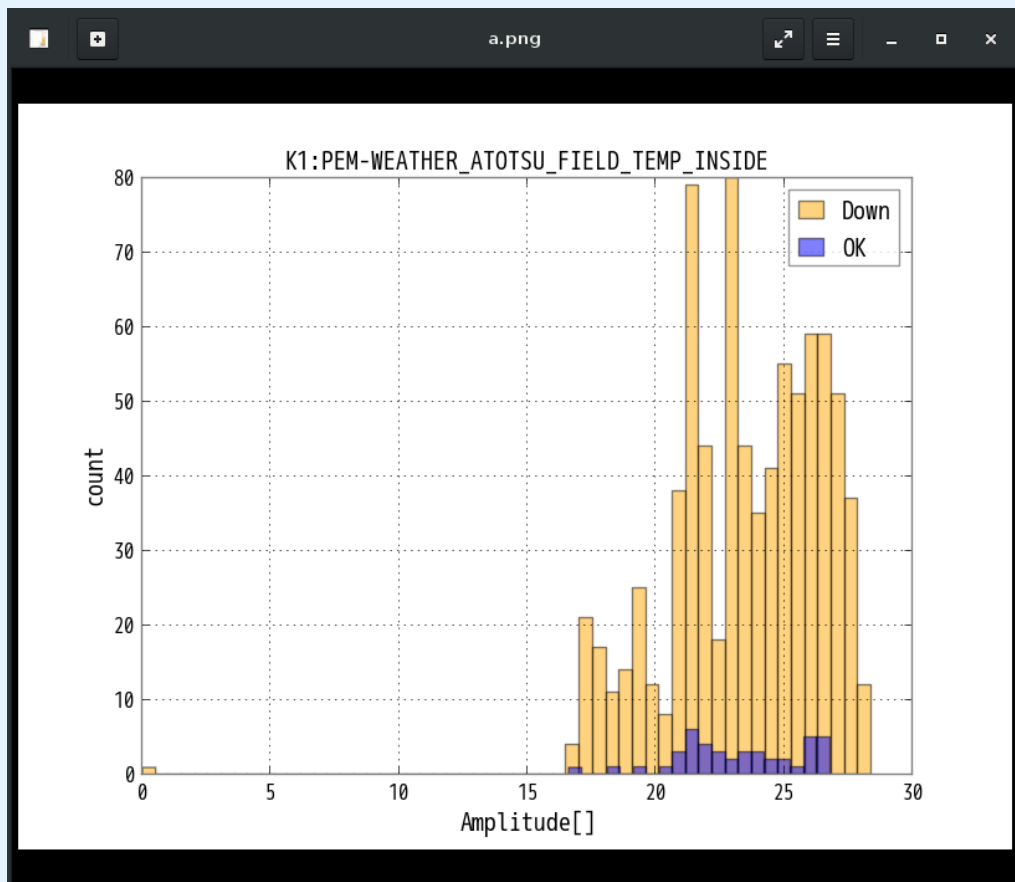
ロックロスありのときとなしのときで大きな違いは見られない

ロックロスありのときは波形が大きいがこれは主に原因ではなく結果

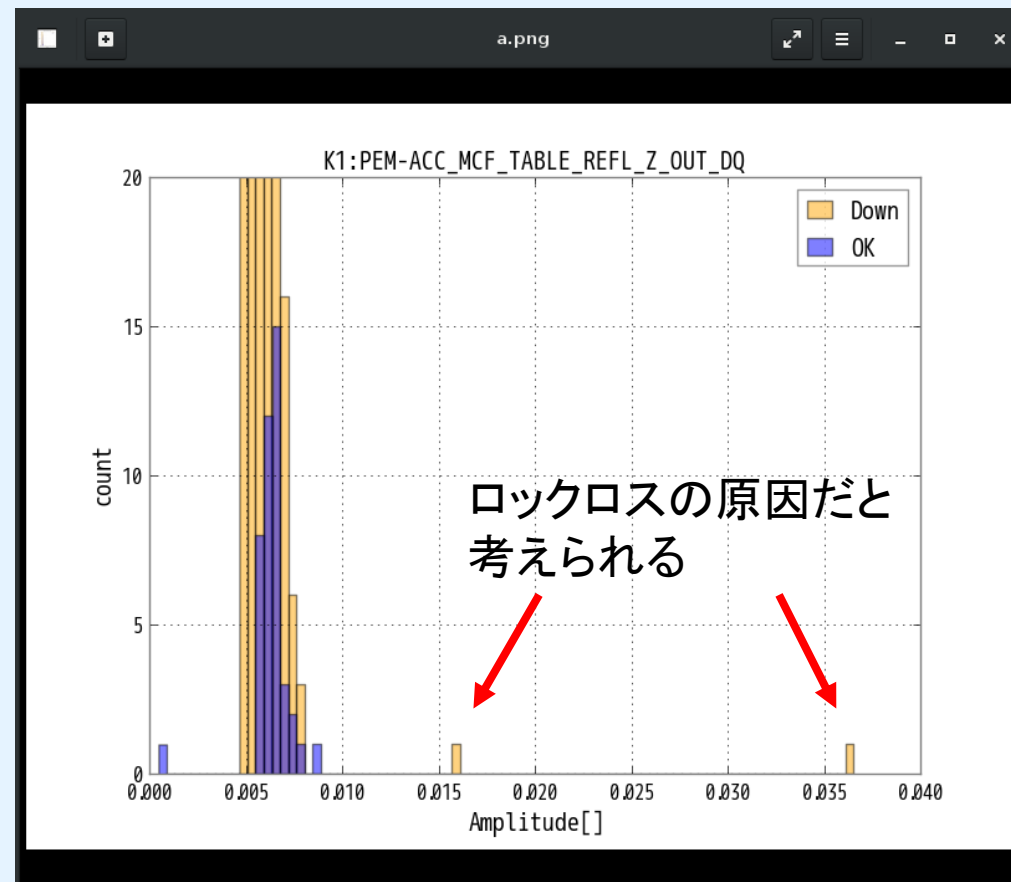


研究結果 (PEM)

ロックロスありのときとなしのときで大きな違いは見られない

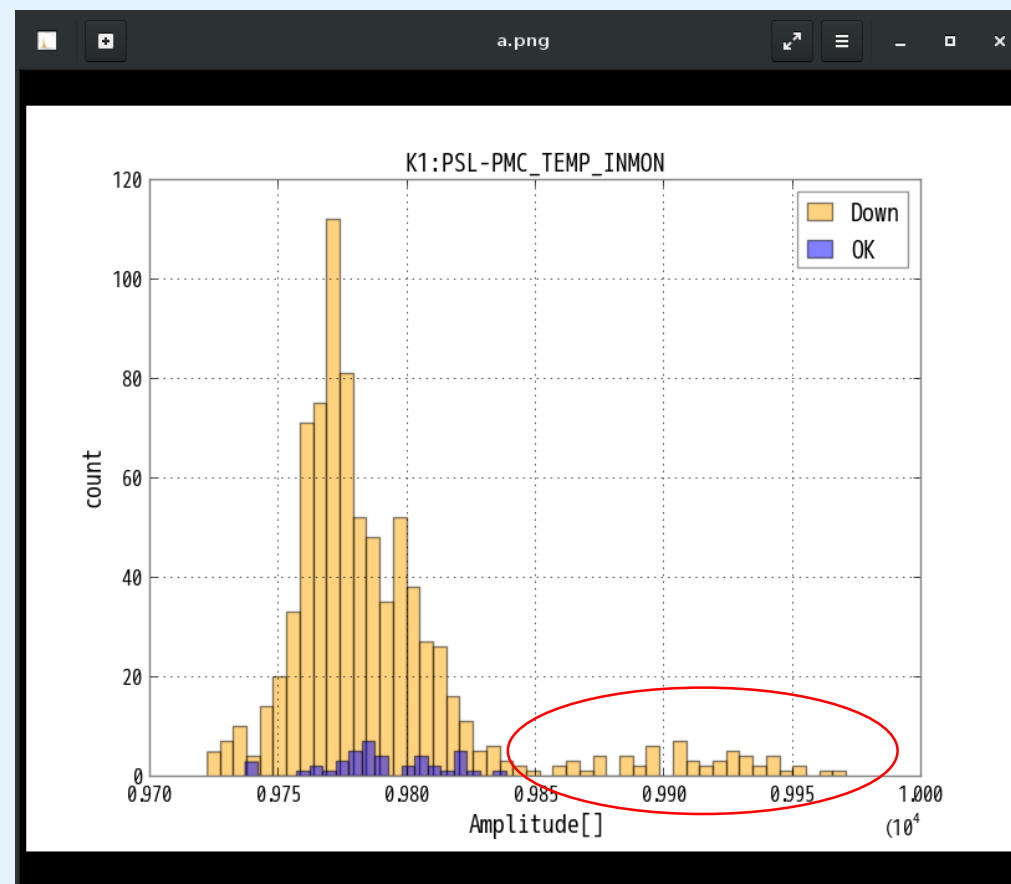
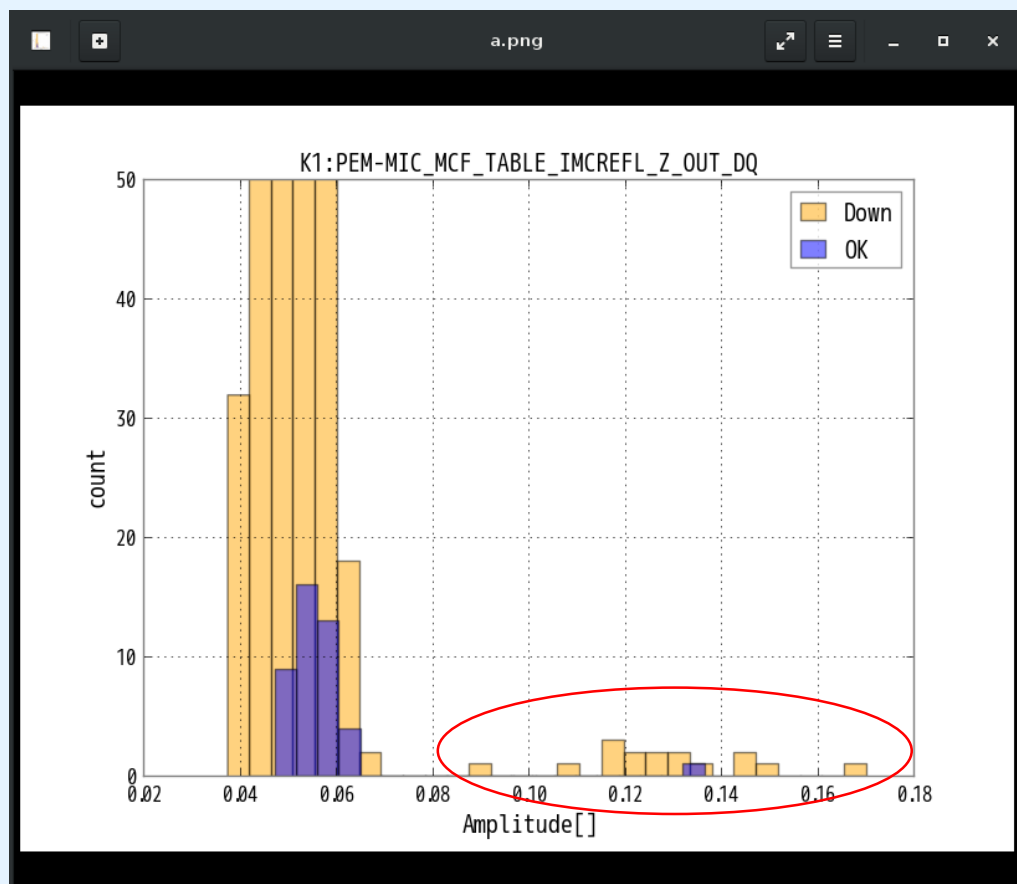


ロックロスありのときに波形が大きいものがあり、原因の可能性あり



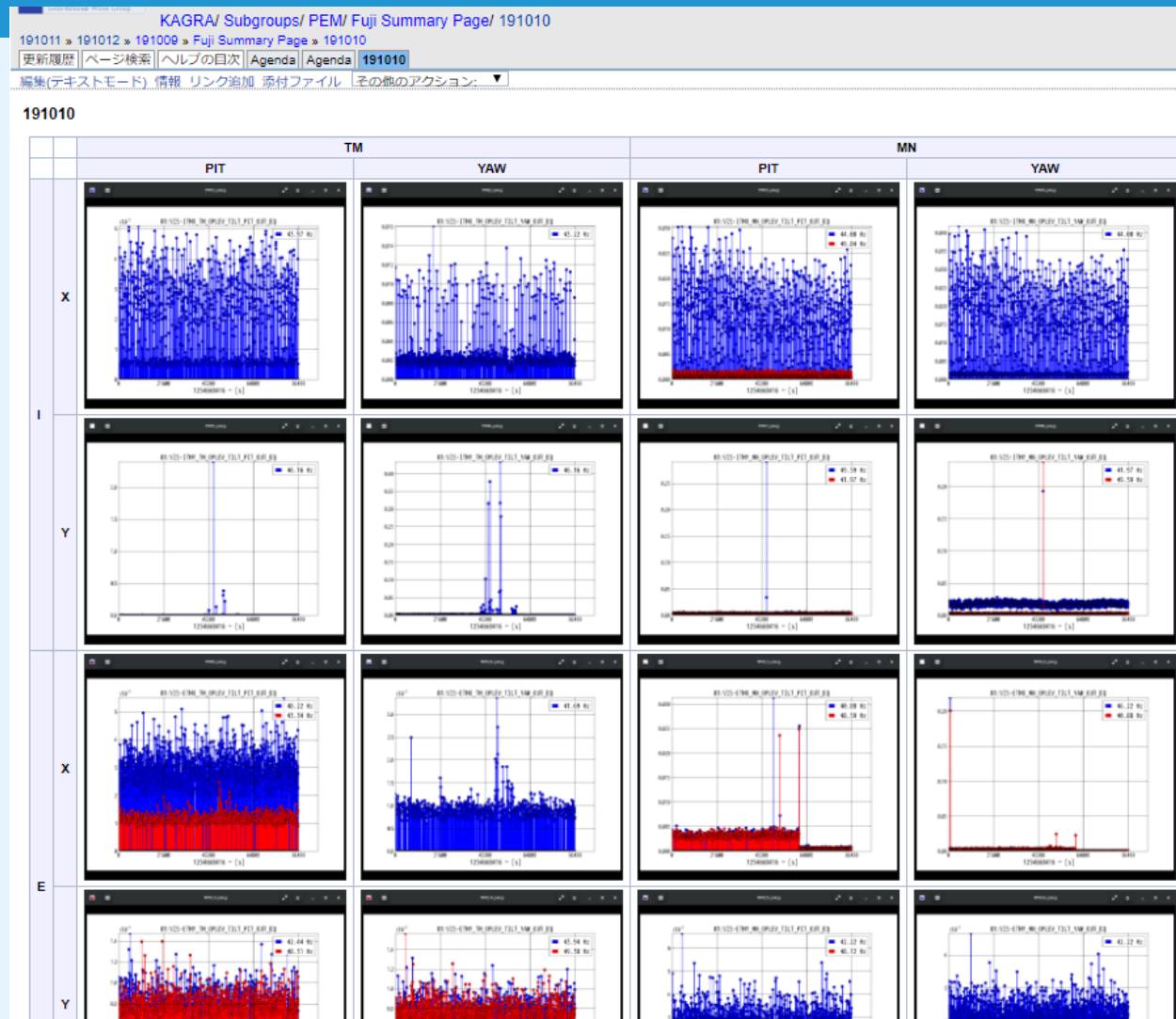
研究結果 (PEM)

直接の原因かは分からないが、
音や温度が原因でPMCが落ちている可能性あり



サスペンションの雑音

htmlを作成する予定
鷺見さんに聞いているところです



Summary and future plan

まとめ

- ロックロスの原因をヒストグラムを用いて統計的に調査した
- 振動や温度や音はロックロスの原因の可能性あり

今後の予定

- ロックロスなしのデータ数増やす
- FPMIのロックロスの調査
- サスペンションのラインのページアップデート
- 次回の神岡出張は10/28 (月) ~

Appendix